

国連 持続可能な開発のための教育の10年

地域 からつくる ESD

～ESD シナリオづくりに向けて

ESD-J2006 活動報告書



はじめに

ESD-J 代表理事 阿部 治

2006 年度は国連持続可能な開発のための教育（ESD）の 10 年の開始から 2 年目にあたり、日本実施計画にもとづく政府の施策の初年度にあたる年であった。本報告書でまとめられているように ESD-J はこの 1 年間、ESD を推進するしくみづくりなどをめざした政策提言や広報普及活動、ネットワークづくりなどを積極的に展開してきた。とくに ESD-J からの提案に端を発する ESD 促進事業（環境省委託事業）は、国内の多様な ESD の実践を掘り起こし、それをより ESD 的要素の濃い実践へと深化させることに貢献している。このモデル事業への応募が 75 地区にも及んだことは、不十分ながらも ESD という言葉が少なからずの人々に浸透してきたことを示している。

促進事業にとどまらず地域における ESD の実践を概観すると、島嶼や中山間地など、過疎化の進行や経済の不振、一次産業の衰退など厳しい環境に置かれている地域にユニークな実践が多く存在している。これらの地域では持続不可能性が端的にみえ、その結果、ESD へのインセンティブやニーズが高いものと思われる。現在は、これら的一部地域における取組みではあるが、近い将来、持続不可能性が国内の隅々で顕在化していくであろう。これらの一種の先進地域における取組みを検証し、モデル化することは、今後の ESD の展開、ひいては持続可能な社会の構築に極めて有益である。

また、今期から始まったアジア ESD 推進事業「Asia Good ESD Practice Project (AGEPP)」は、これまでの個人や組織によるアジアのネットワークを、ESD の実践レベルでのネットワークへと深化させてくれた。日本を含む 7 カ国という限られた国々の実践ではあるが、本書にあるように非常に多くのユニークな多くの実践が収集され、分析の対象となっている。詳細は別の機会に譲るが、これらのアジアの多様な ESD の事例を通じて「持続可能な開発や社会づくり（SD）における教育・学習（E）とはなにか」といった、これまで ESD につきまとっていた疑問を解くヒントが数多くみつかってきている。

先の国内の ESD 促進事業やアジアの優良事例などの分析を通じて、なにをもって ESD とよぶのかといった指標づくりも可能となる。それは地域における ESD の発展プロセスへの自己評価を容易にするだろう。本書にもあるように国際的にも ESD 指標づくりが始まっている。ESD-J の取組みはこれらの動きを実践面から補強する活動である。しかもアジアにおける生態学的・文化的・宗教的多様性を包含したこれらの事例は、ESD、言い換えれば持続可能性におけるアジアのプレゼンスを十二分に示しているように思える。また、今期から開始した環境教育や青少年育成といった ESD-J の構成領域・組織メンバーによる「ESD シナリオづくりプロジェクト」は、ネットワーク組織である ESD-J の利点を生かした取組みであり、今後より発展させるべき活動である。

以上のように、今期、さまざまな特筆すべき成果をあげてきたが、ESD の広範な普及や実施体制の確立という点では、より一層の取組みが求められている。会員のみなさまのさらなる参加・連携・協力を切に願っている。

目 次

第1章 ESDシナリオづくりプロジェクト

○○教育とESDをつなぐ方法を探る ESDシナリオづくりプロジェクト	2	
メイキング・オブ・ESDシナリオづくりワークショップ 裏方からの証言	4	
一挙公開！ シナリオづくりのAtoZ～ESDを軸に原体験から未来までも共有	6	
一挙公開！ ワークショップの成果、3つ	12	
私が描いた大きなシナリオ		
環境教育<自然保護>	自然保護にも平和運動にも必要な「多様性の安定性」	13
環境教育<自然保護>	究極の目標はとてもよく似ている	14
食農教育	ESDは○○教育の自己変革を促す<導きの糸>	15
福祉教育	誰かのための福祉から、当事者としての福祉へ	16
平和教育	平和を築く市民の「力」をESDで築きたい	17
人権教育	環境と開発と人権をつなぐ教育プログラムの創造を	18
ジェンダー教育	ESDにおけるジェンダーの主流化とジェンダー教育のESD化	19
環境教育<自然体験>	他分野との対話の一歩は自分のライフ・ストーリーにある	20
環境教育<自然体験>	異なる人が同じ方向に向かうために	22
環境教育<自然体験>	プログラムだけではESD的な教育になりえない	23
環境教育<自然体験>	ネットワークとプログラム作成力をESDの推進に	24
環境教育<エネルギー>	唯一絶対の正解がないからおもしろい	26
青少年育成	216カ国2800万人参加のボイスカウトでESDの世界的な展開を	27
青少年育成	他人の幸せを自分の喜びにできる人づくり	28
国際理解教育	企業と連携した学校向けESD授業を、ESD-J会員とも	29
試作！ 小さなシナリオたち		
ジェンダーイエローカード		30
「あそび」探検隊		32
食からESDを考える		34
ESDシナリオづくりワークショップ「3回パッケージ・プログラム」		36

第2章 ESDへのメッセージ

わたしがESD-Jに入ったわけ	46
ESDに期待します！	51

第3章 図解 ひと目でわかる！ ESD-Jの活動内容

ESD-Jとは？	56
地域ネットワークプロジェクト～地域のESDを推進するしくみづくり	57
政策提言プロジェクト～ESDをすすめる政策づくり	58
情報共有プロジェクト～ESDにかかわる情報を発信する	59
国際ネットワークプロジェクト～アジア・太平洋地域でESDのネットワークづくり	60

持続可能な開発のための教育の 10 年
地域からつくる ESD ~ ESD 実践シナリオづくりに向けて

第 4 章 地域の ESD をサポートする <地域ネットワークプロジェクト>

地域ネットワークプロジェクト年間活動報告	62
地域ミーティング開催報告	
高知	64
土気（千葉）	66
水俣	68
石川	70
松戸	72
貝塚	74
大野・垂水	76
久留米	78
地域ミーティングステップ 2 開催報告	
関東ブロック	80
岡山	82
日野	84
北信越ブロック	86
全国ミーティング開催報告	90

第 5 章 ESD をすすめる政策を提案する <政策提言プロジェクト>

政策提言プロジェクト年間活動報告	94
環境省「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」促進事業	
ESD 促進事業の目的	96
事業の枠組み	96
2006 年度全国事務局の取組み	98
2006 年度事業の成果	101
第 1 回 ESD 情報交換会～政府と市民の意見交流ミーティング～	108
ESD・環境教育円卓会議 in 岡山	110
2007 年統一地方選挙に向けた公開質問状	112
2007 年統一地方選挙に向けた緊急アピール	113
各省庁の 2007 年度 ESD 関連施策・予算調査	114

第 6 章 ESD 情報を共有する <情報共有プロジェクト>

情報共有プロジェクト年間活動報告	122
ESD-J ウェブサイト	124
2006 年度の ESD レポート	126
ESD 入門テキストブック第 1 弾	128
ESD なんでも相談室 開設中！	129

ESD 基本用語集	130
学びの場をデザインする	
浜松に生きる日系ブラジル人・ペルー人高校生によるミューラル・プロジェクト	132
地域に学び地域に還す 富山高専学生・学校・地域の学びの連鎖	134
暮らしを学びに～山村留学が子どもと村人を自立させる	136
中山間地 災害復興 村の誇り——先人の「不屈の精神」と「住民自治」に学ぶ	138

第7章 アジア・太平洋地域で ESD をすすめる <国際ネットワークプロジェクト>

国際ネットワークプロジェクト年間活動報告	142
アジアの仲間たちとの情報共有をめざして アジア ESD 推進事業	144
フィリピン 農業発展のための農民と科学者のパートナーシップ法人	146
フィリピン カラハン教育基金	148
インドネシア バドウイ族	150
インド コミュニティ投資基金	152
インド 環境教育センター	154
ネパール 国立学校外教育リソースセンター	157
中国 雲南省大衆流域管理研究・普及センター	159
中国 中国マングローブ保護プロジェクト	161
韓国 緑の順天 21	163
日本 NPO 法人 アサザ基金	165
日本 岡山京山地区環境教育 ESD プロジェクト	167
アジア太平洋地域 DESD 国別指標開発ガイドラインとその策定プロセス	170

第8章 ESD 関連資料

ESD-J の事業一覧	180
ESD-J の運営・情報共有に関する活動一覧	182
ESD-J の講師派遣先一覧	183
ESD-J の共催・協力・後援事業一覧	184
ESD 関連の記事・論文など（一覧）	185
ESD 関連の記事（抜粋）	188
2005 年度決算報告書	196
2006 年度事業計画	198
2006 年度予算	199
団体正会員名簿	204
制作協力者一覧	205